

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	20-4																															
PDCA	主要事業名	子どもの貧困対策事業	部課名	子ども未来部 子ども育成課	担当 内線		加藤 406																																
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 1 単位施策： 子どもと子育て家庭 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 8,475 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.02.01.06.50																																						
	事業概要等	事業概要： 子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく子どもの貧困対策として貧困の連鎖を防止するための学習・生活支援を実施する。																																					
		事業目的： 子どもの将来がその生まれた環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る。																																					
		事業内容： 子どもの学習・生活支援事業を実施する。また、子どもの貧困についての理解を深めるため、フォーラムを開催する。																																					
		問題点・課題等： 学習・生活支援事業について、より良い事業運営のために対象、実施形態、場所などに 関して調査・研究していく必要がある。																																					
	予算額	主要事業とする理由																																					
	8,475 千円	子どもが貧困の連鎖から脱却し、社会で自立した生活を営んでいくためには、学習・生活支援を始めとした各種事業が必要であるため。																																					
	財源内訳	得られる成果																																					
	市費 2,549 千円	子どもが社会で自立して生きていくための力を身に着けることにより、貧困の連鎖の防止につながる。																																					
	国費 781 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">常設学習・生活支援事業の出席率</td> <td>実績値 71.9</td> <td>70.3</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値 80.0</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	常設学習・生活支援事業の出席率	実績値 71.9	70.3	—	%	目標値 80.0	80.0	80.0	%		実績値				目標値					実績値				目標値			
	目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																		
	常設学習・生活支援事業の出席率	実績値 71.9	70.3	—	%																																		
		目標値 80.0	80.0	80.0	%																																		
		実績値																																					
		目標値																																					
	実績値																																						
	目標値																																						
県費 5,145 千円																																							
その他 0 千円																																							
D 実績得られた成果と	決算額	得られた成果																																					
	6,022 千円	常設学習・生活支援事業では、学習だけでなく、学校生活や私生活に関する相談に乗ったり、社会で自立して生活していくための習慣を身に着けるための支援を行うことにより、中学3年生の多くが第一又は第二志望の進路へ進むことができた。																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">常設学習・生活支援事業の出席率</td> <td>実績値 60.1</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値 80.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	令和4年度	単位	常設学習・生活支援事業の出席率	実績値 60.1	%	目標値 80.0	%																								
	成果指標	令和4年度	単位																																				
	常設学習・生活支援事業の出席率	実績値 60.1	%																																				
		目標値 80.0	%																																				
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 常設学習・生活支援事業では、新型コロナウイルスに対する感染予防を徹底した上で対面授業を継続して支援に努めた。欠席者に対しては、LINE連絡等によるフォローアップを引き続き行い、出席率を上げる必要がある。 また、長期休暇中の学習支援については、なるべく学区内で支援を受けられるよう、令和3年度の3会場から2会場増やして、令和4年度は合計5会場で実施した。																																					
A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 常設学習・生活支援事業においては、令和3年度から家庭連携の業務も追加したため、引き続き様々な事情から事業への参加ができていない児童及びその家庭に対し、訪問や電話等による学習や生活相談等の支援を行う。令和5年度以降も、引き続き、家庭と連携しながら当該児童の参加を促進していく。 長期休暇中の学習支援については、成岩地区での実施を検討していく。																																					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 あり																																			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	※対象・手段の変更																																		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない		ない																																		